



徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部／保健福祉学部人間福祉学科

地域と考えるSDGs講座⑨-2 令和7年度「こども家庭福祉連続研修会②」

徳島文理大学保健福祉学部人間福祉学科では、ソーシャルワーク専門職養成において、子どもの権利を守り、すべてのひとがつながりあう「こどもまんなか・地域共生社会」を担う人材の育成に取り組んでいます。「こども家庭福祉連続講座」は、地域とともに共生社会について学び、考えることでつながりを深めます。今年度は「ひびきあう」をテーマに参加型音楽ワークショップと講演を行います。SDGsの目標は、3「すべての人に健康と福祉を」です。

子どものウェルビーイングとひびきあう 権利、声、「象徴」としての子ども

参加費 無料

2025年12月5日(金) 12:30 - 14:40

徳島文理大学 徳島キャンパス2号館 2階 アカンサスホール
(徳島市山城町西浜傍示180)

または オンライン (zoom) 視聴

※オンライン参加希望の方は**事前申し込み必須**

内容

12:30 開会 イン트로ダクション

12:45【講演】 社会福祉法人子どもの虐待防止センター

山口 有紗 氏 (小児科専門医)



ウェルビーイングとは、「こころや身体、まわりの人との関係、そして社会の中での自分の存在(ビーイング)」が、その人にとって心地よい状態、またはそこへ向かう揺らぎのプロセスのことをいいます。その土台には人権があり、これはすべての子どもに無条件で保障されるべきものです。虐待やネグレクト、家庭の中での困難など、子ども時代のつらい体験を減らし、丁寧にケアしていくこと。そして、あたたかく応答的な関係や、安心できる環境など、日々の暮らしの中でのポジティブな体験を増やしていくことが、子どもたちの「いま」と「これから」のウェルビーイングにつながっていきます。

子どもたちの声やまなざしに耳を傾けながら、私たち大人が子どもとともにできること、地域の中で支えあえることを、ご参加いただいたみなさまとの「ひびきあい」の中で一緒に考えていきたいと思えます。

13:50【交流ワークショップ】

ご参加のみなさまと感想を共有し、交流を深めましょう！

※ ご参加は任意です

主催：徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部
保健福祉学部人間福祉学科・地域連携センター
問合先：徳島文理大学保健福祉学部人間福祉学科
和仁研究室 088-602-8687 wanir@tks.bunri-u.ac.jp

事前参加お申込み→
当日参加もOKです
オンライン参加は
事前申込必須



※事前申込みに御協力ください



<略歴> 山口有紗 氏 (小児科専門医)

小児科専門医、子どものこころ専門医。公衆衛生学修士。高校中退後、イギリスでの単身生活や国際関係学部での学びを経て医師となる。現在は子どもの虐待防止センターに所属し、地域の児童相談所などで相談業務に従事。国立成育医療研究センター臨床研究員、こども家庭庁アドバイザー。著書に『子どものウェルビーイングとひびきあう——権利、声、《象徴》としての子ども』(明石書店)『きょうの診察室 子どもたちが教えてくれたこと』(南山堂)がある。



徳島文理大学 アクセス



JR徳島駅から

徳島県徳島市山城町(国道55号線沿い)

JR「徳島駅」からスクールバスで10分。

徳島市バスは、(南部循環)「左回り」または「山城町」(ふれあい健康館)行き 約10分「文理大学前」下車。